

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

蜜寶錄

嘉永元年

戊申初冬

岩姓包質



經濟學部
研究室
5
1240

東大
5
124

經濟學部
研究室
5
1240



38431

蜜質録被革

一 録金所物一紙之類筆

是十次金時貸書其小所存物一紙銀海言新書以前之小所存海言
法金法其之貸書其由何字日限以上切金其前有一紙之類筆
之類筆其之貸書其由何字日限以上切金其前有一紙之類筆

小作年令海方日限

一 録金所物一紙之類筆

一 録金所物一紙之類筆

一 録金所物一紙之類筆

二十日限

二十日限

二十日限

一 金指而雨也

一 日六反也

一 二反也

十二反也

十二反也

十二反也

朱改札
金指而雨也
日六反也
二反也

切金

一 金指而雨也

一 日六反也

一 二反也

金指而雨也

十二反也

十二反也

十二反也

一 金指而雨也

一 日六反也

一 二反也

一 二反也

一 二反也

一 二反也

一 二反也

一 二反也

一 二反也

一 二反也

一 二反也

十二反也

十二反也

十二反也

十二反也

十二反也

十二反也

十二反也

十二反也

十二反也

十二反也

十二反也

一金以元通近

一 二 石友余

一 二 石友余

一 二 石友余

一 二 石友余

一 二 石友余

一 二 石友余

一 二 石友余

一 二 石友余

六兩

七兩

八兩

九兩

十兩

十一兩

十二兩

十三兩

十四兩

他... 漢文...

切金可成

一 借金取

一 職人多貨取

一 仕入金

一 作金

一 指金

他地人店貨取

一 足酒金

一 賣取金

一 書入金

家賃金日限

一 金三指兩以下

一 二 三指兩以上

一 二 四指兩以上

一 二 五指兩以上

一 二 六指兩以上

一 二 七指兩以上

十日

二十日

三十日

四十日

五十日

六十日

一 醫務書函等 一 紙席書入 一 家藏書後漢文 一 暹羅僧の巻

本家質之津の切立の事

一切金津文留書の事

尾中一札の事

合限行程

七十一日限了候

右正則山田郡跡兼村幸助より藤酒造系代金紙在席の事
日人海士の懐而由りて味く之を寄遠に書面し金子正日限通し
意及り候所より後書に書面し候所

年号

宛新

右の通り申す所之海経より申渡候事
返上候り候事

一 質入地ノ事

河小作流文通法ノ事

一 質入地流文通法ノ事

是六部書質入地流文通法ノ事
申す所之河小作流文通法ノ事
申す所之河小作流文通法ノ事
申す所之河小作流文通法ノ事

一 小作流文通法ノ事

是ノ字に河小作流文通法ノ事
申す所之河小作流文通法ノ事
申す所之河小作流文通法ノ事
申す所之河小作流文通法ノ事

一 質入地小作流ノ事

一 辛酉年明孫子辛酉年之價地

流地

朱是書之通例價地流之而辛酉年之近之海地也之全
海方P地地地之月水為辛酉年之近之海地也之全
但流地之文云云之後之近之海地也之全
是之流地之文云云之後之近之海地也之全
孫子辛酉年之海地也之近之海地也之全

一 辛酉年之價地

辛酉年之流地也之近之海地也之全

朱是書之通例價地流之而辛酉年之近之海地也之全
海地也之近之海地也之全
海地也之近之海地也之全

一 辛酉年浪之全之有之價地

價地也之近之海地也之全

是之近之海地也之全
令何程程之近之海地也之全

朱是書之通例價地流之而辛酉年之近之海地也之全
海地也之近之海地也之全
海地也之近之海地也之全

一 辛酉年之價地

辛酉年

朱是書之通例價地流之而辛酉年之近之海地也之全
海地也之近之海地也之全
海地也之近之海地也之全

一 價地也之近之海地也之全

辛酉年之流地也之近之海地也之全

朱是書之通例價地流之而辛酉年之近之海地也之全
海地也之近之海地也之全
海地也之近之海地也之全

未 是又石修之序中支し通之水上事

墨 但本全地之形也其對之地理之也其水精可致其力也之序後
其右之質也其右之序之質也其右之序之質也其右之序之質也

海方可申也

是又石修之序中支し通之水上事
其右之質也其右之序之質也其右之序之質也其右之序之質也
其右之質也其右之序之質也其右之序之質也其右之序之質也

一 年季の石修序の
可致其力也之序後

年季の石修序の
可致其力也之序後

未 是又質元流文之形也其對之地理之也其水精可致其力也之序後
其右之質也其右之序之質也其右之序之質也其右之序之質也
其右之質也其右之序之質也其右之序之質也其右之序之質也

未 是又質元流文之形也其對之地理之也其水精可致其力也之序後
其右之質也其右之序之質也其右之序之質也其右之序之質也
其右之質也其右之序之質也其右之序之質也其右之序之質也

未 是又質元流文之形也其對之地理之也其水精可致其力也之序後
其右之質也其右之序之質也其右之序之質也其右之序之質也
其右之質也其右之序之質也其右之序之質也其右之序之質也

未
海方可申也

一 質元全海方可申也

地面全之石修地

未 是又質元流文之形也其對之地理之也其水精可致其力也之序後
其右之質也其右之序之質也其右之序之質也其右之序之質也
其右之質也其右之序之質也其右之序之質也其右之序之質也

未 是又質元流文之形也其對之地理之也其水精可致其力也之序後
其右之質也其右之序之質也其右之序之質也其右之序之質也
其右之質也其右之序之質也其右之序之質也其右之序之質也

丸積し地を五三作らんとす小作に過り

糸小作傳文不傳

一 質代流文し文云宜小作流文不傳

質代流文は通裁許
小作傳し不傳

是も質代流文不傳し通例文云云は流代流文不傳不傳し之を
傳て質代流文は通裁許小作傳文通例之を不傳し之を
之も小作傳し合之於初は不傳上事

一 又質元地を加割し流文

元地は海方宜信し通り

是も合之質元地を不傳不傳し内地主に割し加割は加割人
質元地は通裁許し通裁許し通裁許し通裁許し通裁許し
通裁許し通裁許し通裁許し通裁許し通裁許し通裁許し
是も又質元地を加割し流文は通裁許し通裁許し通裁許し
是も又質元地を加割し流文は通裁許し通裁許し通裁許し

一 赤地を地寄社に依り流文は依り質元地を社

七十年里
遊放

是も赤地を地寄社に依り流文は依り質元地を社
社人即し流文は依り質元地を社
是も赤地を地寄社に依り流文は依り質元地を社
是も赤地を地寄社に依り流文は依り質元地を社

一 小作傳

質代流文は通裁許
小作傳し不傳

是も赤地を地寄社に依り流文は依り質元地を社
是も赤地を地寄社に依り流文は依り質元地を社
是も赤地を地寄社に依り流文は依り質元地を社
是も赤地を地寄社に依り流文は依り質元地を社

朱一 質比元令并 小作年令在兩極ノ所令其海如前ノ事也此其
 小作年令之不振質比元令日限ノ過小作年令ノ日限ノ中其
 能令質比元令之令高不振而進之其後自限ノ小作年令之令高以
 二其自限ノ令高也此小作年令之令高也其後自限ノ令高也其
 之過之其自限ノ令高也其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其
 令高也其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其

朱一 但書之作法も令其小作人極ノ過其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其

朱一 此小作年令之不振質比元令日限ノ過小作年令ノ日限ノ中其
 小作年令之不振質比元令日限ノ過小作年令ノ日限ノ中其

朱一 別小作年令之令高也其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其
 此為其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其

一 小作年令之不振質比元令日限ノ過小作年令ノ日限ノ中其
 其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其

朱一 是也質比元令小作年令之令高也其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其
 證文官令其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其
 主之別小作年令之令高也其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其

朱一 但書小作年令之不振質比元令日限ノ過小作年令ノ日限ノ中其
 其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其

一 小作年令之不振質比元令日限ノ過小作年令ノ日限ノ中其
 其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其

朱一 是也此小作年令之不振質比元令日限ノ過小作年令ノ日限ノ中其
 其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其後自限ノ令高也其

水地地理全書 天南地北 亦多經 亦小地人何得幸地
皆於水作地 亦多經 亦小地人何得幸地
附 是之向水作之 附

一 質地之全幸事之因海之也
幸事之強令也 幸事之強令也 幸事之強令也
附 是之向水作之 附

是之各令 質地之全幸事之因海之也
西之使 幸事之強令也 幸事之強令也
王方水質地 幸事之強令也 幸事之強令也

一 質地之全幸事之因海之也
幸事之強令也 幸事之強令也 幸事之強令也
附 是之向水作之 附

是之各令 質地之全幸事之因海之也
西之使 幸事之強令也 幸事之強令也
王方水質地 幸事之強令也 幸事之強令也

一 質地之全幸事之因海之也
幸事之強令也 幸事之強令也 幸事之強令也
附 是之向水作之 附

一 質地之全幸事之因海之也
幸事之強令也 幸事之強令也 幸事之強令也
附 是之向水作之 附

是之各令 質地之全幸事之因海之也
西之使 幸事之強令也 幸事之強令也
王方水質地 幸事之強令也 幸事之強令也

取之陸より内より而して海に至るは地所引海より不陸より陸に
舟書示す如何なる地所引海より不陸より陸に
事

一 通例之質地流況は文云くは年々の積年之位より陸列が突
再至るは地所引文云くは年々の積年之位より陸列が突
積年之位より陸列が突
引海より不陸より陸に

一 積年之位より陸列が突
積年之位より陸列が突
積年之位より陸列が突
積年之位より陸列が突
積年之位より陸列が突

初め初め陸文より内より而して海に至るは地所引海より不陸より陸に
舟書示す如何なる地所引海より不陸より陸に
事

一 年々之積年之位より陸列が突
積年之位より陸列が突
積年之位より陸列が突
積年之位より陸列が突
積年之位より陸列が突

一 離縁之事

是て男子と女子の夫婦に有るは、
浮中身の時、男女共、其の可く可く、
可なり事。

一 再婚之事

是を言ふは、
再婚之事、
又と云ふ中、

一 再婚之事

是を言ふは、
再婚之事、
又と云ふ中、

是を言ふは、
再婚之事、
又と云ふ中、

一 身代之事

是を言ふは、
身代之事、
又と云ふ中、

一 身代之事

是を言ふは、
身代之事、
又と云ふ中、

元倉全三石 打屋成石全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石
 地 難之 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石
 但 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石
 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石
 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石

一 勘合内事

是 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石
 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石
 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石
 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石 元倉全三石



右 勘合 在大田氏



五

十